

(報道発表資料)

令和 7 年 2 月 2 1 日
京都市産業観光局
担当：観光 MICE 推進室
電話：075-746-2255

令和 6 年「京都観光に関する市民意識調査」の結果

京都市では、持続可能な観光の実現に向けて、市民生活と観光の調和・両立や、観光による地域への貢献等により市民の皆様の満足度や豊かさの向上につなげるため、令和 3 年から「京都観光に関する市民意識調査」を実施し、京都観光に関する市民の皆様の御意見やニーズの把握に努めています。

この度、下記のとおり令和 6 年「京都観光に関する市民意識調査」の結果をお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査目的

市民の皆様の京都観光に関する意識や京都市の観光政策・施策の認知度等を把握し、「京都観光振興計画 2025」(令和 3 年 3 月策定)の指標及び目標値として同計画の進捗管理を行うとともに、今後の観光施策を立案するための基礎資料として活用します。

(2) 調査の方法等

ア 調査対象

京都市内在住の満 18 歳以上の市民 4,950 人(無作為抽出)

イ 調査方法

郵送による配布、郵送または WEB フォームによる回収

ウ 調査期間

令和 6 年 9 月 12 日～令和 6 年 10 月 8 日

エ 有効回答数

1,721 件(回答率 34.8%)

(3) 調査結果

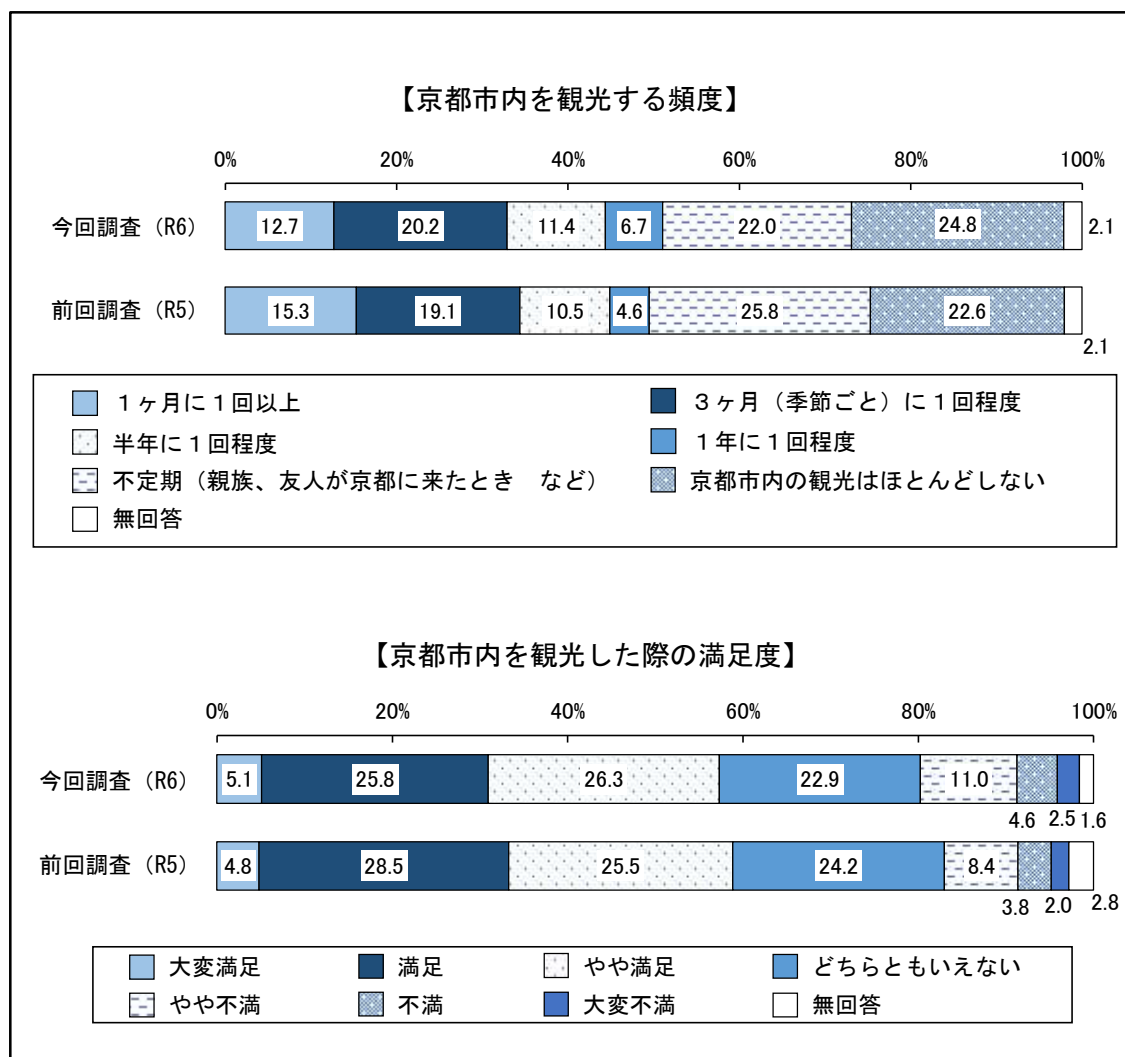
京都市公式ホームページ(京都市情報館)にて公開。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000337215.html>

2 主な調査結果のポイント

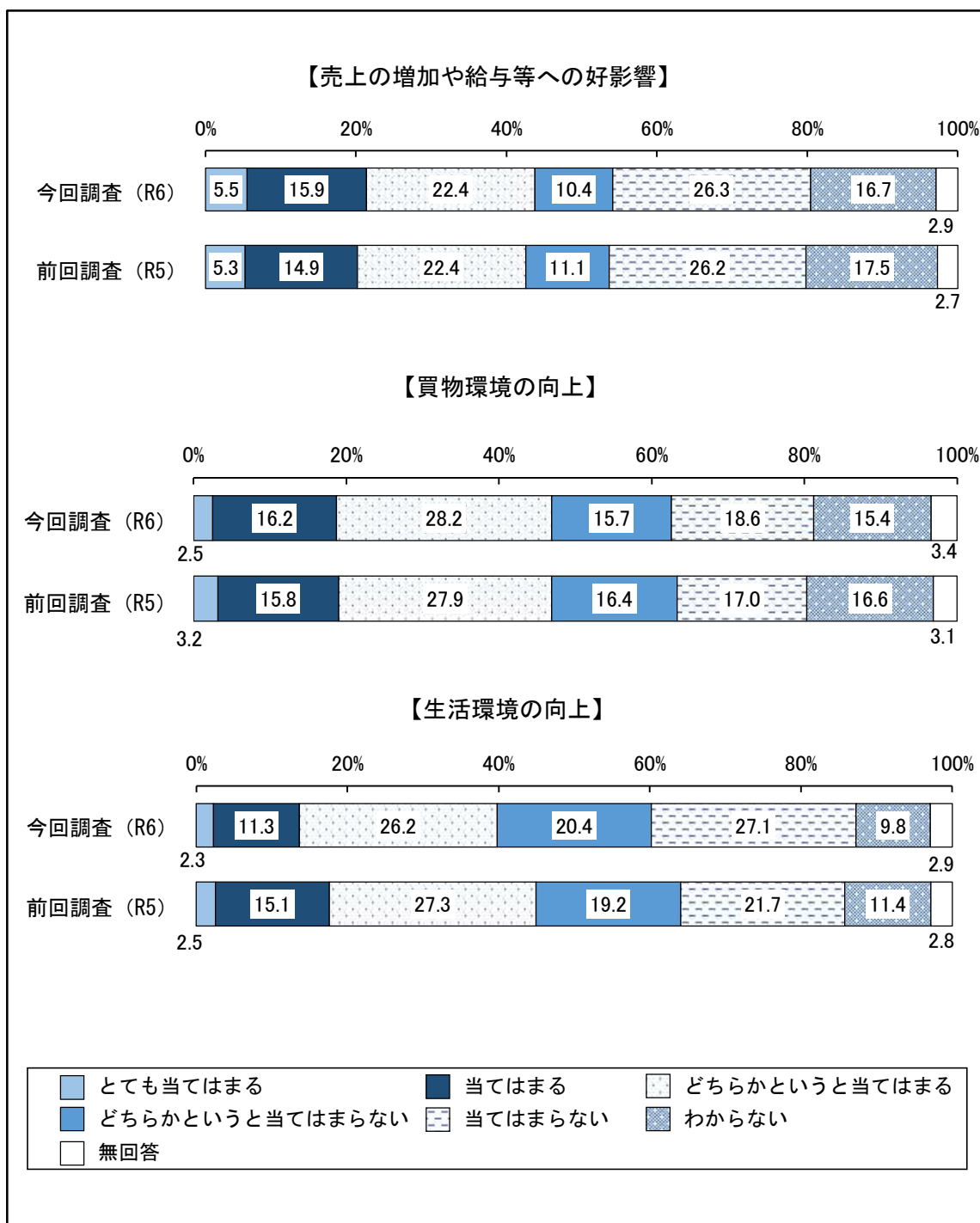
(1) 京都市内の観光の頻度、満足度（問7、8）

- 「市内を観光する頻度」については、半年に1回以上と回答した方の割合が44.3%（R5：44.9%）である一方、ほとんど観光をしない方の割合は24.8%（R5：22.6%）となった。
- 「実際に市内を観光し、満足をした方」の割合は57.2%（R5：58.8%）、不満を感じた方の割合は18.1%（R5：14.2%）となった。



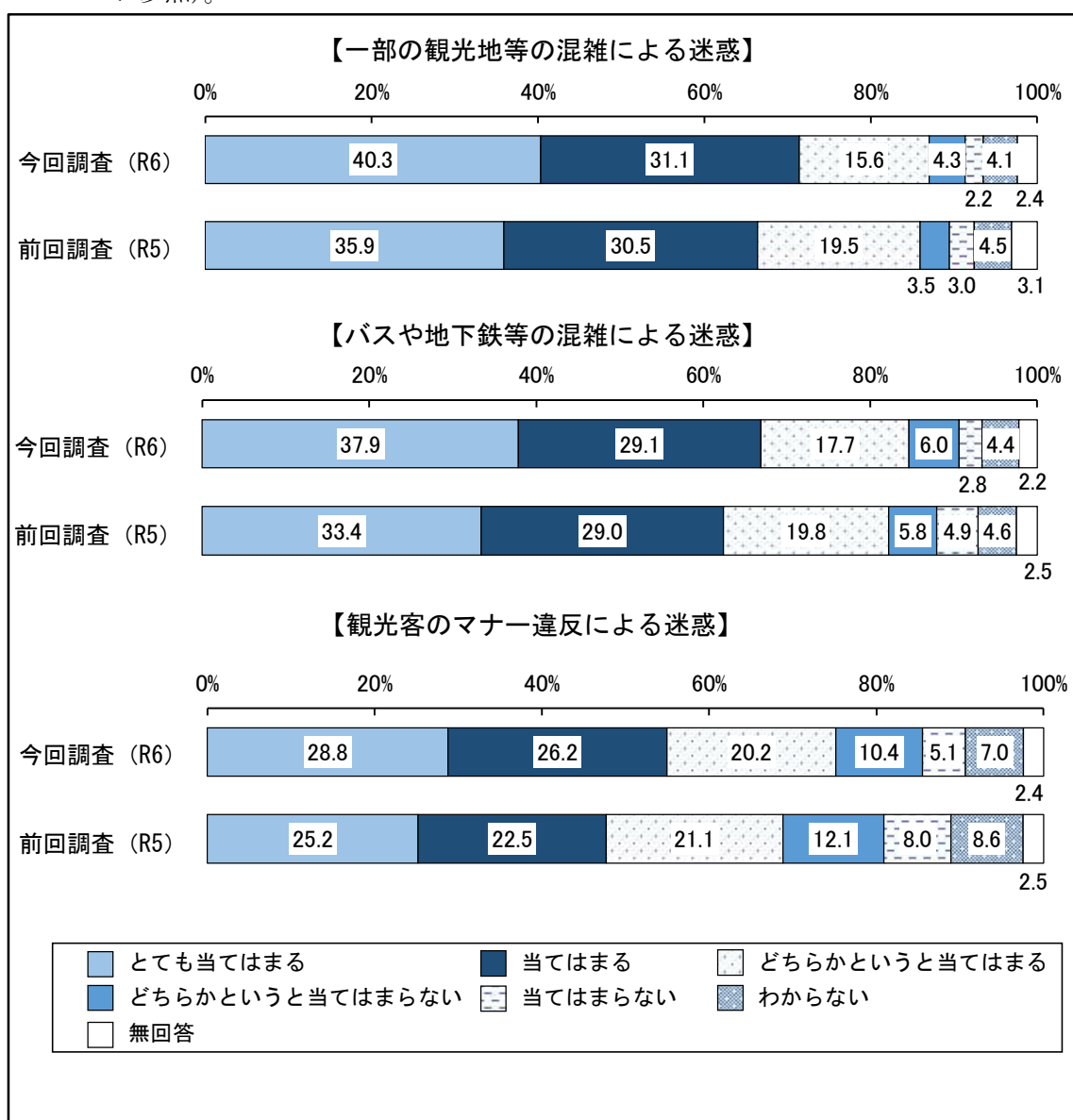
(2) 観光客や京都観光が自身にもたらす影響（問 15）

- 観光客が訪れることで、「売上の増加や給与等への好影響につながっていると感じた」と回答した方の割合は21.4%（R5：20.2%）、
「買物環境の向上につながっていると感じた」と回答した方の割合は18.7%（R5：19.0%）、
「生活環境の向上につながっていると感じた」と回答した方の割合は13.6%（R5：17.6%）となった。



- ・ 他方、「一部観光地やその周辺等が混雑して迷惑した」と回答した方の割合は71.4%（R5：66.4%）、「バスや地下鉄等が混雑して迷惑した」と回答した方の割合は67.0%（R5：62.4%）、
「観光客のマナー違反によって迷惑した」と回答した方の割合は55.0%（R5：47.7%）となった。

※ 居住エリア別でクロス集計した結果、例えば「観光客のマナー違反によって迷惑した」方は、清水・祇園周辺及び伏見周辺エリアにおいて「迷惑した」割合が顕著に増加している一方、割合が減少しているエリアもあった（調査結果本冊68ページ参照）。



(3) 観光の重要度、誇り（問 18、19）

- ・ 「京都市の発展に、観光が重要な役割を果たしている」と回答した方の割合は70.6%（R5：72.7%）となっている。
- ・ また、「京都市が観光で評価されることに誇りを感じる」と回答した方の割合は65.8%（R5：64.9%）となった。

